

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会事務局	高嶋 正広	63-7892 (文化生涯学習室)

施策体系	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	3	市民文化の創造
	施 策	3	文化交流

1. 施策の基本方針 **Plan**

- ・名張の文化を積極的に発信し、全国の多様な地域との豊かな文化交流を進めます。
- ・外国人旅行者や在住者が、住みやすく、活動しやすい情報提供を進め、市民公益活動団体等とのネットワークを充実します。
- ・名張固有の文化等の情報発信を通し、世界の多様な地域や人々との交流を広げるなど世界に開かれたまちづくりを進めます。

2. 目標

○重点目標 **Plan**

- ・地域の文化を広く発信するため、国内外の様々な地域との交流を積極的に推進します。
- ・国際交流や国際協力に取り組む各種団体の主体的な活動を支援します。
- ・多くの人々を名張に迎え、市民が交流する機会を創出します。

○目標達成に向けた課題 **Plan**

- ・文化交流は教育分野だけでなく、福祉や観光分野等、多様な交流が必要であることから、将来的には(仮称)国際文化交流室を設置し事業推進する必要があります。
- ・多彩なツールを用いての情報発信手法の開発が必要です。
- ・市内で生活する外国人の支援について、関係団体とのネットワークづくりが必要です。
- ・あらゆる機会を通して、国際理解教育を促進する必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・観阿弥創座の地、江戸川乱歩生誕地としての名張の文化の全国発信に積極的に取り組むとともに、関わりのある地域との歴史・文化を通じた交流を図る必要がある。

○施策指標(目標)及び達成状況 **Plan Do**

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合 (%)	目標	-	-	58.0	-	-	60.0	100%
	成果	55.5	60.5	60.7	61.3	60.1		
指差し会話集の数【延べ値】 (件)	目標	-	-	17	-	-	20	0%
	成果	13	13	13	13	13		

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 **Do**

- ・三重県の指定文化財である一ノ井の松明調進行事について、東京の三重テラスや三重県立博物館でのパネル展示を行ったほか、唐招提寺へ竹を奉納する行事など、関係団体との連携を行いながら文化交流と情報発信に努めました。
- ・韓国水原市で開催された日韓青少年水環境フォーラムに市内中学生7名を派遣し、国際理解と文化交流を深めました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・子ども狂言による他県との交流や名張子ども伝統芸能祭りの開催など、交流と情報発信に努めました。

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・スポーツ少年団による中国蘇州市とのスポーツ交流事業、名張ユネスコ協会による韓国京畿道ユネスコ協会との文化交流事業を、それぞれ協働し取り組みました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 4 事業)

Do **Check**

事務事業 シート 番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の 施策への 貢献	地域づ くり組 織等と の連 携・協 働	事務事 業シ ート での 今後 の方 向	施策 達成 への 貢献 度	施策 達成 への 重要 度
1152	小学校ALT派遣事業	学校教育室	13,158	13,128	A	該当しない	継続(拡大)	B	A
1155	中学校ALT派遣事業	学校教育室	8,758	8,676	A	該当しない	継続(現行)	B	A
1174	日中スポーツ友好交流事業	市民スポーツ室	500	300	B	実践している	継続(現行)	A	A
1310	中学生国際交流派遣事業	文化生涯学習室	-	492	B	該当しない	H26完了	B	A
合計(単位：千円)			22,416	22,596					
小計(うち、一般会計分)			22,416	22,596					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> 子ども伝統芸能発表会は第5回目を迎え、定着してきており「狂言」を通しての文化交流を行い、名張市の情報発信ができました。 韓国水原市で開催された日韓青少年水環境フォーラムに中学生を派遣し、国際理解・文化交流を深めました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> イベント開催による能のふるさと名張の情報発信と文化交流を図っていきます。 市民活動団体との連携強化やALT(外国語指導助手)を活用し、国際理解教育を促進します。
